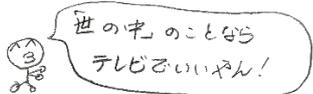


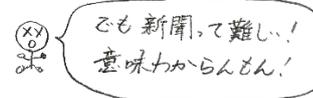


★新聞を読もう！ ～読解力の向上～★

いよいよ来週テストである。テスト勉強で忙しいという人が多いと思うが、ぜひ毎朝新聞を読んでもらいたい。朝が無理なら夕方でもよい。日頃から読んでいる人は、この通信も読まなくてよいだろう。なぜ「新聞を読もう！」というのか。その理由は簡単。新聞はイイからである。読解力が身につく、知識が増え、思考力がアップする。そして「世の中」が見えるようになる。



それなら聞く力はアップするかもしれないが、読解力はアップできない。



という中学生もいるだろう。しかし！！

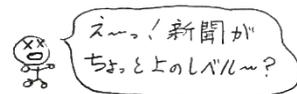
難しいからこそ読み甲斐はあるのである。

人は自分の限界のちょこっと上を目指すことで鍛えられる。それはいろんな分野でも同じことが言える。スポーツでは、ちょこっと自分より強い相手とするから上達していくのである。君たちゲームするときも、簡単にクリアできることを何度も何度もやらないだろう。クリアできたら少し難しいとこのクリアを目指すからゲームはおもしろいのである。そして勉強も。1 + 1 = 2 を何百万回計算したところで何の勉強にもならない。

1 + 1 = 2 → 3 + 9 = 12 → 18 + 3 = 21 → 3 × 2 = 6 → 18 ÷ 6 = 3
 (くりあがり) (2けた) (かけ算) (わり算)

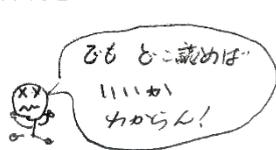
ちょっとずつ難しくなるから鍛えられていくのだ。

おっと！！新聞を読む話とかわかってきてしまった。読解力も同じで、自分の実力の「ちょっと上」の文章を読むことで読解力は鍛えられるのだ！



と思う人もいるかもしれない。

一見新聞は難しい言葉や漢字が使われているように見えるが、地名や人名、専門用語を除けばせいぜい小学校の5年生でも読めるレベルの漢字で書かれている。内容も基本的には、who (だれが) what (何を) when (いつ) where (どこで) why (どんな目的で) how (どのように) というルールで書かれている。一般の文章のように、ナニがど〜なって、アレがコレでソレがこ〜なってドレがドレだかなんて複雑になってるわけではないのである。また記事の内容を全部完璧に理解する必要はない。最初のうちは、知らない語句や用語など適当に読み飛ばしてもなんとなく「全体像」がつかめればOKなのである。



〇〇人語、〇〇春秋とか、

各社の新聞の一面にのっている

という人。是非とも読んでほしい部分が「一面コラム」である。「一面コラム」については、次号で紹介することにしよう。

